



# 与那原東小だより

令和8年8月28日（金）  
与那原町立与那原東小学校  
文責 校長 砂川 充

学校教育目標 ○進んで学びよく考える子 ○ゆたかな心の子 ○進んで実行する子 ○たくましい体の子

## 1 学期後半開始 たくさんの行事を通して主体的・自治的な活動へとつなげたい

1 学期後半が始まりました。子どもたちの元気な姿を見ることができ、とてもうれしく思っています。ところで、みなさんは夏休みに地域の行事へ参加しましたか。与那原大綱曳では、子どもたちが活躍する姿を見ることができました。今年の綱曳は東（あがり）が勝利し、38 年ぶりの 2 連覇を達成しました。地域の伝統行事に参加し、地域の方々とふれあうことは、学校では得られない貴重な学びの機会となります。保護者の皆様におかれましては、お子様のためにご家庭ならではの体験や学びの機会を設けていただきありがとうございました。

さて、今日から学校生活が始まります。まずは生活リズムを整えてほしいと思います。また、1 学期後半の目標をしっかり立て、その達成に向けて努力してほしいと考えています。子どもたちには、「今の自分より少し高い目標に挑戦すること」、そして「プラスの言葉を使い、前向きな気持ちで過ごすこと」の大切さを伝えました。これから大きな行事が続きます。一人一人が自分事として考え、主体的に関わることで、子どもたち自身の力による自治的な活動へとつながっていくことを期待しています。子どもたちのさらなる成長と活躍が楽しみです。

学校では、1 学期後半も「聴き合う関係づくり」を大切にしながら、互いに学び合う授業づくりに取り組んでまいります。そして、一人一人を大切にする温かい学校づくりを進めてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。



地域活動に参加することは、自分の人生を豊かにするだけでなく、活力ある地域づくりにもつながる。

### 1学期後半の、目標をたてよう

今の自分の少し上をめざそう。

⇒ 人とくらべません。

以前の自分と比べて成長できるようにしましょう

目標に向かって自分との約束を守るよう

⇒ 自分との約束は、破っても誰からも怒られません

⇒ 途中であきらめることも簡単

⇒ 守れたかどうかは自分にしかわからない

自分との約束を守ること おのずと行動が変わる



教育新聞 こころに響く 校長講話 より

### プラスの言葉で前向きに

ことだま（言葉）

「言葉には魂が宿っていて、口に出した言葉通りの結果をもたらす力がある」と言い伝えられている

「嫌だ」「どうせ」「できない」「面倒くさい」

⇒ 本当はできる力があるけど「できない」方向に進んでしまう。

人は誰でも、プラスの言葉も、マイナスの言葉も吐いてしまう。

でも、マイナスの言葉を言わないように気をつける

すると横棒の「マイナス」が消えて「叶う」という字になります。

言葉が変われば 人生も変わる



教育新聞 こころに響く 校長講話 より

## 夏休み期間中も先生方は研修をしていました 与那原小学校の先生方と一緒に学び合いました



「子どもの力」を信じる実践～マインドセットと環境デザインの両輪で～  
講師；県スクールカウンセラー 新垣香代子氏 幼小合同研修



## 国語・算数 校内研修

検証授業の様子と夏休み期間中の授業研究の様子です。



「やってみた！WEBQU のその後」として与那原中学校の仲里直美先生を講師に研修を行いました。

